

## 院長室発「これから」



院長 池原 康一

最近では石垣島も朝夕は涼しくなり、遅めの秋の気配を感じます  
私が赴任して2ヶ月が過ぎようとしています、少しずつ島の医療状況も理解しつつあります。そこで今後のことについて考えてみました  
徳洲会グループは「生命だけは平等だ」を理念とし、救急医療や離島僻地医療に重きをおいてまいりました。また、断らない医療が重要であると認識してきました。石垣島でもほかの徳洲会グループ病院と同じような診療体制を維持しておりますが、果たしてこのままで良いのか？という疑問を持つに至りました。石垣島の医療体制は県立八重山病院を中心として十分に成り立っていると感じました。救急医療や重症疾患はやはり県立八重山病院の方が充実しています。当院ではハード及びソフトともに満足のいく対応ができないこともあります。よって、石垣島の状況に合わせた体制作りをする必要があるとの思いから、私達はこの島に不足している医療サービスを提供できるようにしてはどうかと考えました

- ① 慢性期から自宅への継続した在宅医療サービスの充実
- ② 血液透析の充実
- ③ 健診・人間ドックの拡充

それぞれの具体策については次の機会にお示したいと思います  
この島は今後も人口増加が予想されています。院内体制を集約して当院の特色を明確にすることにより石垣島全体の医療サービスに貢献できるよう職員一同力を合わせて邁進してまいります

### 離島研修スタート（宜しくお願いします！）



おおつき ゆうへい  
大月 悠平

所属病院：南部徳洲会病院

出身大学：愛媛大学

趣味・特技：サッカー

石垣でやりたい事：皆さんと仲良く楽しくやって行きたいです

その他一言：2ヶ月間お世話になります。年末年始も頑張りましょう！

### 日本マイクロソフト社からの取材



#### マイクロソフト社が石垣島の取材にきた～

当院にて稼働中の電子カルテシステムが国内初のWindows10バージョン導入施設とのことで「日本マイクロソフト社」から取材を受けました。近々に同社ホームページにて掲載される予定です。緊張でタジタジの一同でしたがうまく伝わったか………疑問です



## リレーエッセー

## File Number 4



### 於茂登3合瓶

師走が近くなり「南の島」石垣島でもクリスマスイルミネーションや飾り付けが目立つようになりました。一応、寒さを感じる北緯24度20分04秒です  
当広報誌のサブタイトル「みしゃーろーるんさー」の名付親である吉俣哲志前院長が11月19日の診療をもって退職となりました。（故）金城浩院長に感銘と刺激を受けての赴任とお聞きしました。また、11月30日は金城浩院長の命日（今年は7回忌）です二人の共通点は患者様はもちろん”島民にも愛された”と言うことと思います

「人と人との繋がりは偶然ではなく必然である」と言いますが、初代・二代目の素敵な病院長が築いた歴史を池原康一院長を先頭として必然的に集まった仲間と共に継承し発展させなければと考えています

では、今夜も於茂登3合瓶で乾杯といきましょう！ 皆様、お体にはご自愛頂き、良いお年をお迎えください・・・次回は野底マーペについてです

吉俣先生 みしゃーろーるんさー！



石垣島徳洲会病院  
事務長 山川 宜則

